

【主題名】 みんなのものを大切に 内容項目 「C-(10) 規則の尊重」

【教材名】 きいろいベンチ (東京書籍 新しいどうとく2)

<あらすじ> 雨が上がって晴れた日に、たかしとてつおは公園で紙飛行機を飛ばして遊んでいた。より高く飛ばそうと、ベンチの上から飛ばすことにした。夢中になってベンチを汚してしまっただことに気付かなかった。その後、小さな女の子がベンチに座ってスカートを汚してしまう。

【ねらい】

- 内容項目の理解
約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にするという道徳的価値について指導する。
- 児童生徒の実態把握
公共物を使うときにもきまりがあるということに気付いていない。

本時のねらいを設定する

判断力 心情 実践意欲 態度

自分勝手な行動をしないで、周りの人のことを考え、わがままな心を抑えて生活しようとする道徳的心情を育てる。

【指導の流れ】

段階	主な学習活動 ○主な発問 (◎中心発問)	考え議論する道徳ポイント集
導入	1 本時のねらいとなる道徳的価値について問題意識を持つ。 ○ みんなで使う物は、どのような物がありますか。 ○ みんなが使う物は、どのような気持ちで使いますか。 2 課題をつかむ。 みんなが気持ちよく過ごすために大切な気持ちについて考えよう。	導入の工夫 自分との関わり
	3 登場人物の心情を自分との関わりで捉え、みんなが気持ちよく生活するために大切な気持ちについて考える。 ○ 2人はどうしてベンチの上に乗って飛行機を飛ばしたのでしょうか。 ○ 2人は遊んでいるとき、どのような気持ちでしたか。 ○ 女の子の汚れたスカートを見て、2人はどのような気持ちになりましたか。 ◎ みんなが気持ちよく生活するために、どのような気持ちが大事ですか。	自分との関わり 多面的・多角的
終末	4 自己の生き方について考える。 ○ 今までの生活を振り返り、今日分かったこと、考えたこと、いいなあと思ったこと、これからしたいことを書きましょう。	終末の工夫

【板書計画】

みんながきもちよく過ごすために
みんなであつかうものを大切にす
る。
まわりの人のこともかんがえる
気もち。
めいわくをかけないように、やく
そくをまもる。

めいわくをかけた。

どろだらけの女の子の絵

- ・ どうしよう。
- ・ しかられる。
- ・ こんなことになるなんて。
- ・ こまったなあ。
- ・ あやまりたい。

第○回道とく
・ ろうかを走らない
・ 時間はまもる。
・ なかよくあそぶ。
「きいろいベンチ」

ベンチで遊ぶ絵

- ・ 楽しいなあ。
- ・ もっと遠くまでとばしたいなあ。
- ・ 気持ちがいいなあ。

む中になつている。

みんながきもちよく過ごすために、大切な気持ちについて考えよう。

【評価】

たかしとてつおの心情の変化を考えることを通して、きまりを守ることの大切さについて、自分との関わりで考えようとしていたか。